

ボッチャの部 実施要領(予定)

1. 競技規則

実施年度の「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び本大会実施要項により行う。

2. 競技方法

- (1) 座位・立位の部に分かれ、個人戦で行う。試合は、1対1の個人戦を2エンドで行う。
- (2) 各部では、予選リーグ戦及びその上位者による決勝トーナメント戦またはリーグ戦を行う。ただし、参加人数の少ない部については、決勝リーグ戦のみ行うこととする。なお、各部において、競技者が2名となった場合は、同じ対戦を2試合行い、2試合の合計で順位を決定する。
- (3) 全国障害者スポーツ大会選考の資料とするため、決勝トーナメント戦またはリーグ戦以外に、オープン戦を行う場合がある。
- (4) ジャックボールを含めた各選手の投球時間の合計は、1エンドあたりそれぞれ5分とする。
- (5) 同点時は、タイブレイク(ファイナルショット制度)で勝敗を決定する(投球時間1分)。

3. 用具

- (1) ボールは、個人所有のものでも、主催者が用意するボールでもかまわない。主催者が用意するボールは、受付で貸し出すこととするが、複数の種類があるため、希望する種類のボールが貸し出されるとは限らない。
- (2) ボールの規定は次のとおりとし、試合前に検査することがある。ボールの不正があった場合は、無効試合とすることがある。【ボールの重量】275g±12g 【ボールの周長】270mm±8mm
- (3) ランプの使用について
 - ① ボールを投げることのできない座位の選手はランプの使用を認める。ランプは横に倒した時に2.5m×1m以内に収まる寸法で選手が準備するものとするが、用意できない場合は主催者で貸し出す。
 - ② ランプを操作する人は競技に介入することは許されないが、介入しなければ競技することが困難な場合は「上記に該当しない肢体不自由者」区分で申込むこと。

4. 招集

- (1) 試合開始後は、各コート of 選手待機場所にいること。前の試合終了後、コート上で招集を行う。
- (2) 介助者は受付で受け取ったビブスを着用し、選手と一緒に選手待機場所にいること。
- (3) 招集を完了しなかった選手は、棄権とみなすことがあるので注意すること。

5. 予選リーグ戦の順位決定方法及び決勝トーナメント戦進出条件

- (1) 各予選リーグ戦内の順位は次の順で決定する。
 - ① 勝った試合が多い選手
 - ② 勝ち試合が同じ場合は、直接対決で勝った選手
 - ③ ①②で決まらない場合は得失点差の多い選手
 - ④ ③で決まらない場合は総得点の多い選手※上記で決定しない場合は、タイブレイク(ファイナルショット制度)で決定する(投球時間1分)。
- (2) 決勝リーグ・トーナメント戦には、各予選リーグ戦で1位の選手が進出する。

6. その他

- (1) 大会中のけがや病気については、応急手当を除いて主催者では一切責任を負わないので、健康と安全には各自で十分に注意すること。
- (2) ウォーミングアップコートは、開始式までの間のみ開放する。譲り合って利用すること。
- (3) 試合終了後は、審判の指示に従い、速やかに移動すること。
- (4) 荷物は各自で管理すること。特に盗難には注意すること(更衣室等に荷物を放置しないこと)。
- (5) 会場内では決められた場所以外には立ち入らないこと。また、喫煙は決められた場所で行うこと。
- (6) 試合の応援については、2階観覧席から行うこと。